



現業評議会第61回定期総会開催

現業統一闘争へ結集を

—職場の声・課題を交渉の場へ—

9月5日、現業評議会は2020年確定闘争及び現業統一闘争を全力で取り組み、組合員の生活と権利を守るたまたかへの前進に向



▲秋のたたかひに向けて意志統一をはかった現業評議会

日、人事課をはじめ主管室課へ要求書を提出し交渉を行った。注目すべき点は、来年度における管財課運転技士の新規採用者募集の回答を引き出したこと。これは、前年度までの粘り強い取り組み成果はもとより、



▲総会で挨拶する永河俊司・現業評議長

独自要求の取り組みで 公舎など住環境改善を

気仙支部が定期大会開催

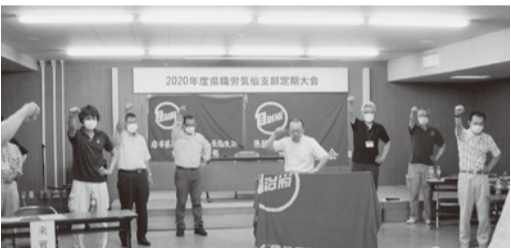
気仙支部定期大会が9月2日、大船渡合庁大会議室において開催された。大会冒頭、佐藤支部長は「東日本大震災復興特区で整備された合庁分庁舎や堰口仮設公舎が今年度末で解体される。復興が完了していない中、仮設公舎の入居者は退去しなければならぬ。これに伴う居住確保が必要である。県南局や県北局では独自要求・交渉等を

順次進めていると聞く。気仙支部でも居住環境の確保に関する独自要求に取り組みたい。是非とも皆さんのご協力を」と挨拶。



▲活動方針などを確認した気仙支部定期大会

その後、執行部から一般経過報告と中間報告、運動方針に、青婦部活動の強化、評議会活動の推進などを柱とする組織強化の取組み方針が提起された。代議員からは「既存公舎の老朽化が著しい。特に水



▲締めくくりに佐藤支部長の音頭で「団結ガンパロー」を三唱

士確保は他県からも評価が高い。今後も良好な労使関係に努めたい。今後も現業職員の非正規への転換阻止は不可欠であり、正規職員での完全補充を勝ち取るため全力で取り組む。10月には現業統一闘争がスタート

胆江支部 絆深めた新採歓迎交流会 ソフトバレーで盛り上がる

胆江支部青年婦人部は、8月28日(金)「新採用歓迎スポーツ交流会」を開催した。新採用5名、会計年度4名を含む26名が参加し、体育館で熱戦を繰り広げ、部局を超えた交流を図った。



▲歓迎交流会の後に集合写真に納まる参加者の皆さん

闘争の中でみんなの力で勝ち取ってきたもの。力強い取り組み、組合員が喜ぶ成果となるよう共に頑張りたい」とお礼と決意が述べられた。

【参加者の感想】 ●総務分会・岩淵友弥さん (新規採用組合員) 「バレーボールを久しぶりにしました。結果は、3位でしたが、チームの皆さんや参加者の方々と交流ができ、とても楽しく良い時間を過ごせたと思います。翌日には、しっかりと筋肉痛になりました！」

●土木分会・佐藤真美さん (会計年度任用職員) 「私は応援要員のつもりで参加しました。が、出場することとなり老体に鞭打つとはこのことだと実感しました。最下位ではないことだけは記憶にあります。疲れましたが思い出に残った一日でした」

県・佐々木支部長・齋・長沼支部長 県庁・盛岡支部が20体制を確立

県職労県庁支部は9月1日、盛岡支部が7日にそれぞれ支部役員選挙結果を公示。立候補者全員が信任され今年度の新体制を確立した。



長沼英友支部長



佐々木琢磨支部長

- 支部長 佐々木琢磨 (産業経済交流課)
副支部長 澁谷昌二郎 (調査統計課)
書記長 和田 英子 (文化振興課)
書記長 佐藤 健 (地域福祉課)
書記次長 小岩 敬洋 (砂防災害課)
執行委員 河野 誠 (自然保護課)
小田 善昭 (林業振興課)
貴志 太樹 (産業復興課)
林 慎介 (定住推進用労働室)
菊池 敏敦 (管財課)
畠山 貴弘 (税務課)
支部長 高橋 孝司 (県土整備企画室)
副支部長 長谷川秀綱 (科学・情報政策室)
書記長 古舘 俊也 (行政経営推進課)
書記次長 葛巻美知子 (農業普及技術課)
伊五澤 敬 (経営支援課)
執行委員 松尾 博昭 (盛岡広域振興局保健課)
小笠原和夫 (盛岡広域振興局保健課)
樋口 晃大 (総務事務センター)
高橋 正樹 (盛岡広域振興局農政課)
大須賀英春 (盛岡広域振興局農政課)
佐々木千咲 (盛岡広域振興局土木部)
横田 皇 (盛岡広域振興局林務部)
菊池 圭 (岩手県環境保健センター)
岩佐あゆ美 (岩手県食肉衛生検査所)
畠山 博文 (畜産研究所)
会計監事 播磨 基州 (盛岡広域振興局農政課)
佐藤祐里江 (盛岡広域振興局農政課)